

事業目的

地域の歴史や魅力を伝えるボランティアガイドは播磨地域各所で活躍している。活発な団体がある一方、人材不足や経済的に、継続した活動が難しい団体も増加している。お互いがつながら、団体運営に関するノウハウの研鑽を行い、課題を共有し、地域を越えて観光振興に寄与するネットワークを作ること、継続した活動ができることを目的とした。

事業概要

播磨地域で活動するボランティアガイド団体を対象に、ワークショップ形式を取り入れた講座や実地研修など全4回の講座を開催。LINEオープンチャットと参加団体一覧を掲載したパンフレットを作成し、相互交流を促す仕組みづくりを行なった。

事業内容

第1回

7月10日(水)10:00~12:30

中世に播磨全域を治めた赤松氏は播磨地域全体に共通する歴史であることから、「中世播磨山城と城館」と題した歴史講義と、講義内容の感想を踏まえ一人ずつ自己紹介を行った。
(出席者 33名)



第2回

8月7日(水)10:00~15:30

「活動の継続と若い世代の役割」と題し、団体が継続して活動していく運営のための資金・人材の確保・企画などのポイントなど、実際の取り組みを踏まえた講義を聞いた。自ら活動の発信できるようになることを目標に、Instagram活用講座も実施した。
(出席者 24名)



第3回

9月11日(水)9:00~12:30

実地研修 中道子山城

一目で遺構・史跡と気づかない場所やガイドブックで紹介されていない魅力が多くある。そのような場所では、事故やケガなど危険が伴うことも少なくない。

専門家の手法を聞いたり、参加者各人のテクニックを共有しあい、ガイドスキル向上と、各地域のさらなる魅力の発信につなげた。
(出席者 23名)



第4回

9月25日(水)9:30~12:30

この事業を通じて新たに取り組んだことや今後の目標設定を行った。事業終了もお互いの活動を応援しながら、ガイドグループの繋がりを生かし、切磋琢磨しながら協力し合える仕組みを作った。
(出席者 20名)



事業の成果・今後の展望

広域でのガイド団体同士の交流と研修はこれまでほとんどなく、今回の事業に賛同する声を多く頂いた。体験談や実技・実地研修を取り入れたことで、即実行しやすく、参加者個々の意識改革にもつながったと考える。講座最終回に作成したLINEのオープンチャットは、イベント情報を掲載しあったり、意見交換の場として現在も活発に利用されている。さらに、参加団体を一覧にまとめたガイド紹介パンフレットを作成。各団体の拠点に設置し、今後相互にPRし合える仕組みを築いた。

どの団体も人材不足や高齢化などの悩みを抱えていること、意欲的な方が多いなどという共通点があり、お互いに良い刺激を受ける関係性につながったと感じる。自団体だけではできないことが、連携によって新たなことができるのではという手応えを感じた。今回参加に繋がらなかった団体へのアプローチや、地域の枠を超えたガイド派遣、地域全体での人材育成など、播磨全体としてガイドの資質向上と連携が深まるようサポートしたい。